



C

- CLI (コマンドラインインターフェイス)** SCE プラットフォームの管理インターフェイスの1つ。Telnet セッションでアクセスすることも、SCE プラットフォームの前面パネルにあるコンソールポート経由で直接アクセスすることもできます。
- Collection Manager (CM)** SCE プラットフォームから RDR を収集して処理し、レポート用に準備するソフトウェアアプリケーション。

P

- PQI (Service Control インストールインストラクションファイル)** SCE プラットフォームまたは関連ソフトウェアのモジュールにインストールするアプリケーションパッケージファイル。

R

- RDR (Raw Data Record)** トラフィックで発生したイベントをレポートする目的で、SCE プラットフォームによって生成されるデータレコード。SCE プラットフォームで生成された RDR は Collection Manager に送信され、Collection Manager データベースに保存されるか、またはサードパーティ製システムに転送されます。クォータ(「クォータ」を参照) 要求を含む RDR や、サービス使用状況をレポートする RDR が一般的です。

S

- SCAS BB Console** SCAS システムを制御するためのユーザインターフェイス。サービスコンフィギュレーションの作成、変更、および適用を行います。
- SCE (Service Engine) プラットフォーム** サービスコントロール用に特化した専用ネットワークエレメント。このハードウェアデバイスは、ワイヤ速度でのディープパケット解析、およびビジネスポリシーに基づくサブスクリバのトラフィック制御が可能です。
- Service Control アプリケーション** SCE プラットフォームの運用方法を定義する SML プログラム。
- SLI (SML Loadable Image) ファイル** SLI ファイルは、SCE プラットフォームにロードされる SML アプリケーションを含んだソフトウェアパッケージです (SCAS ソリューションの一部)。この SML アプリケーションにより、SCE プラットフォームの動作が決まります。同じ POP に存在する SCE プラットフォームでも、プラットフォームごとに異なる SML アプリケーションを使用できます (オペレータは SLI ファイルにアクセスする必要はありません)。

smartSUB Manager (SM) サブスライバ情報とサービス コンフィギュレーションのダイナミック バインディングが必要な場合に使用するミドルウェア ソフトウェア コンポーネント。SM はサブスライバ情報を管理し、複数の SCE プラットフォームにリアルタイムでプロビジョニングします。SM はサブスライバのサービス コンフィギュレーション情報を内部に保存し、AAA システム (RADIUS、DHCP など) と SCE プラットフォームの間のステートフルブリッジとして動作します。

あ

アップストリーム トラフィック サブスライバ側から SCE プラットフォームに着信するトラフィック。

アノニマス サブスライバモード ソリューションのモードの 1 つ。システムがトラフィックをモニタし、サブスライバ側で使用される個々の IP アドレスに基づいて、自動的にサービス コンフィギュレーションを割り当てます。このモードを使用すると、システムを OSS システムと統合せずに、サブスライバのトラフィックを匿名で制御できます。このモードでは、システムで定義されるサブスライバは匿名であり、IP アドレスまたは VLAN ID によってのみ区別されます。

い

インライン接続モード SCE プラットフォームがデータ リンク上のサブスライバ側とネットワーク側の間物理的に位置します。トラフィックの送受信が可能であり、トラフィック制御のほかにモニタリングも実行できます。

く

クォータ 帯域幅、容量など、特定のメトリックでの (サブスライバの) 制限。

グローバル コントローラ グローバル コントローラは、全サブスライバを対象に、選択されたプロトコルまたはパッケージの帯域幅パーセンテージをすべて制御するために使用します。サブスライバ BW コントローラも参照してください。

さ

サービス サービス プロバイダーがアクセス ネットワークのトップでサブスライバに提供する付加価値項目。

プロバイダーがサブスライバに提供するこの種の営利サービスでは、Encharge ソリューションでそれぞれ対応するサービスが定義され、サービスに関連するネットワーク トランザクションの分類や識別、使用状況のレポート、ビジネス ポリシーに基づいたトラフィックの制御が行われます。

サービス コンフィギュレーション Encharge ソリューションにおけるサービスの定義。ネットワーク トランザクションを、対応するサービスおよび SCE プラットフォームが実行すべき動作にマッピングします。サービス コンフィギュレーションには、サービス、パッケージ、帯域幅コントローラ、フィルタ ルールなどの定義が含まれます。

サービス ルール パッケージのサービス ルールを定義することで、サービスをパッケージに割り当てます。

サブスライバ SCAS ソリューションでサービス コンフィギュレーションを実施したり、使用状況をモニタしたりする管理対象のエンティティを表す一般用語。サブスライバは個々の IP アドレスで定義することも、IP アドレスの範囲または VLAN で定義することも可能です。システムがサポートする運用モードとしては、サブスライバレス モード (すべての制御をグローバルに実行する)、アノニマス サブスライバモード、ダイナミックおよびスタティック サブスライバウェア モードがあります。

サブスライバ BW コントローラ (帯域幅コントローラ)	サブスライバ帯域幅コントローラ (BW コントローラ) は、個々のサブスライバのトラフィック帯域幅を制御します。グローバルコントローラ (p.4-9) も参照してください。
サブスライバ起動トランザクション	サブスライバのホストによって起動されるトランザクション。
サブスライバレスモード	ソリューションのモードの 1 つ。統合を必要としないので、SM コンポーネントが不要です。このモードはサブスライバ数や着信 IP アドレス数に影響されないため、SCE プラットフォームの点では、モニタ対象のリンクを利用するサブスライバの総数に制限はありません。グローバル デバイス単位での制御機能やレベル解析機能しか必要とされないサイトで、このモードを使用します。

し

時間ベースルール	トラフィック ルールまたはサービス ルールのどちらにも適用できる付加価値サービス ルール。このルールは、サービス ルール テーブルのサブルールとしてリストされます。ユーザ側で定義する週時間枠のいずれか 1 つに適用します。
シグニチャ	プロトコルを一意に識別するパラメータの集合。
受信専用接続モード	SCE プラットフォームがデータ リンク上に物理的に存在しないので、データは受信だけで送信は不可能です。 このモードでは、トラフィック モニタリングだけが機能します。

す

スタティック サブスライバウェアモード	各サブスライバに特定の IP アドレスをバインドするモード。このモードは、エンタープライズカスタマーを制御する場合や、あらかじめ定義されたサブネットのサブスライバグループ (特定の CMTS/BRAS のユーザなど) を制御する場合に役立ちます。
---------------------	---

せ

セッション (別名トランザクション)	ネットワーク ホスト間の通信のインスタンス。セッションの正確な定義は、アプリケーション プロトコル (レイヤ 7) に依存します。
--------------------	---

た

ダイナミック サブスライバウェアモード	サブスライバがネットワークにログオンして IP アドレスを割り当てられた時点で、IP アドレスに実際のサブスライバ ID が対応付けられるモード。このモードで運用するには、サブスライバに IP アドレスを割り当てる OSS システム (通常は RADIUS または DHCP ベース) に、システムを統合する必要があります。
ダイナミック シグニチャ	稼働中のアプリケーションにロード可能なシグニチャ。いったんロードすると、アプリケーションはそのシグニチャに対応付けられたプロトコルを識別できるようになります。
ダウンストリーム トラフィック	ネットワーク側から SCE プラットフォームに着信する (サブスライバ宛) トラフィック。

と

- トラフィック ディスカバリ レポート** トランザクションの使用状況レコードに基づく、ネットワーク アクティビティに関する統計レポート。
- トランザクション (別名セッション)** アプリケーションによって認識され、L3、L4、または L7 特性に応じて区別される、トラフィックのイベント。プロトコルごとに異なるトランザクション タイプが存在します。

ね

- ネットワーク起動トランザクション** ネットワーク側のホストからサブスクリバ宛に起動されるトランザクション。

は

- パッケージ** 各種サービスへのアクセス レベル、課金パラメータ、および特定のイベントが発生したときに実行すべきトラフィック制御アクションを定義した、ビジネス ポリシー ルールの集合。割り当てられるパッケージ (プラン) により、そのサブスクリバのネットワーク トランザクションの制御方法と課金方法が決まります。

ふ

- フィルタ ルール** サービス コンフィギュレーションの一部。レイヤ 3 およびレイヤ 4 のプロパティに基づいて、SCE プラットフォームにある種のトランザクションを無視するように指示し、ソリューション サービスを回避してそのまま伝送されるようにします。

も

- モニタリング レポート** SCAS Reporter がサブスクリバ、パッケージ、およびグローバルの各レベルで生成する、帯域幅、容量、およびセッションの使用状況レポート。

り

- リアルタイム サブスクリバ使用状況モニタリング** SCE デバイスがサブスクリバを詳細にモニタし、使用状況に関する情報を頻繁にレポートすることで、詳細なレポートを簡単に生成できます。
- リスト** サービスの定義に使用する、IP アドレス範囲または Web アドレスのリスト。